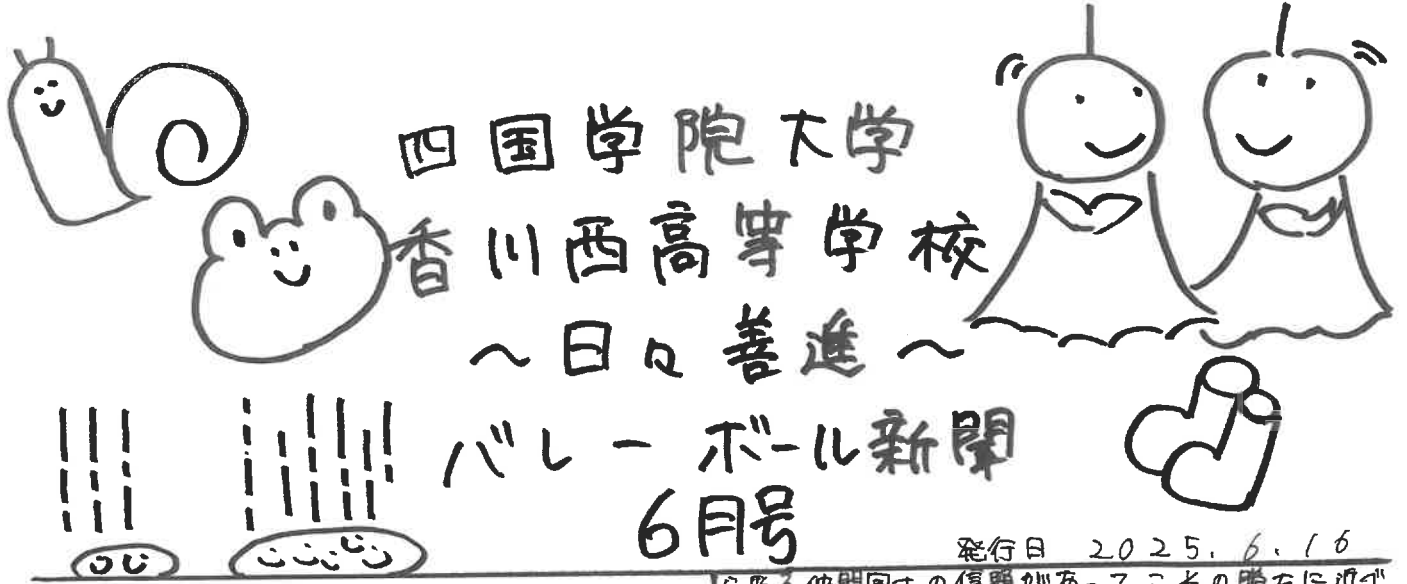




総体を終えて

総体では高松市に敗戦し、今の自分たちの実力を窺きつけられるような結果となりました。総体を終え、自分たちが目標としていた舞台で戦っている人々を見て、今のままではなく、自分自身を見つめ直してチームのレベルを上げていけるように頑張っています。私たち三年生に残された試合は残り一つとなりました。春高予選では、自信を持ってコート上で戦える自分になれるように、限られた時間を大切にしながら頑張ります。応援に駆け付けてくれた皆様、ありがとうございました。

3年：新本 めい
今回の大会では、自分達の小工な悪い習慣の横断歩道が試合に負けるという結果を呼んでしまったように感じます。「あの時こうしとけば良かった」と後悔しても過去はもう戻ってこないのだから、11月の全国を狙える大会に向けて何を積み重ねて、どうやっていかに考え、練習に励みます。

3年：丸尾 美紀
今回の試合では、サーブ・レシーブミスが多く、攻撃までできていけることが少なかったことが課題なので、次の大会に向けてサーブ・レシーブを強化して、個人では、スパイワの打力を上げてコースの打ち分けができるようにします。

2年：西川 真央
総体を終え、1点に絞る重みや、チームメイトとの信頼関係の大切さを改めて感じました。夏の練習でしっかりと信頼関係を築き、良い結果を残せるように頑張ります。引き続き応援よろしくお願いします。

2年：磯野 萌生
どんな強い相手でも、自分たちが持っている最大を出し、気持ちよく戦うことは負けないということだと思っています。勝つ・負けは結果として出てくるので、結果が出る・出ないを判断し、自分たちの体策を考え、プレーできるようにしたいです。また、チームで戦う以上は責任や自覚を持ち、一人ひとりが役割を果たし、チーム一丸となって、士気を上げていけるように頑張ります。

2年：高橋 南帆
1人ひとりに足りない、技術や身持ち、そこが

から来る仲間同士の信頼があってこそこの勝ちに近づいてく一歩目が重要だと感じました。その課題をこれから日々の練習で思いやり出し、プラスに持っていきけるようにします。

2年：戸田 保太郎
自分達の課題が明確になったり、目標とする所がはっきりしたので、これからチームとして強くなっていけるように頑張ります。

1年：中山 雅生
初めこの高校総体で、緊張感のある中でも自分たちの精一杯のプレーを思い出し、楽しむことができて良かったです。また、今回の大会を通して、自分の課題が山積みであることも肌で感じました。次の大会では、もっと良いプレーができるように、毎日の生活や練習で、細かいことから積み重ねていきたいと思います。

1年：河村 玲美愛
総体を終えて私は、卓球コートの中に入り、プレーすることで自分への課題を見つけることができてきました。また、技術面に加えて、自分が狙われた時に落ちついて対応できる精神力が必要だと感じました。次の試合までに見つけた課題を克服できるように頑張ります。

1年：松本 佳子

～バレー教室のお知らせ～

7月21日(月)19:00～

対象者
(小学生・中学生)

持ち物
(シューズ・タオル・水筒)

たくさんの方の参加をお待ちしております

読んでいただき、ありがとうございました
発行責任元：四国学院大学香川西高等学校